

# 災害に備えて、できることを見直してみましよう

9月1日は防災の日。市と立川消防署は8月30日～9月5日の防災週間で「身を守り地域と協力 たすけあい」を標語に、防災意識の啓発に取り組みます。

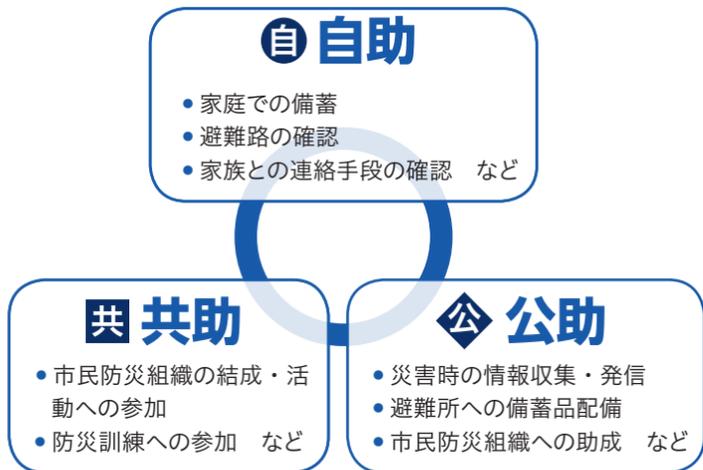
この機会に、一人ひとりがもう一度身の回りで起こる災害について考えてみませんか。「自らの生命は自らで守る」という「自助」の意識のもと、防災訓練などに積極的に参加して防災行動力を高め、まち

ぐるみで「共助」の意識を共有し、地域の協力的体制づくりを進め、災害に備えましょう。

また、9月7日～13日は救急医療週間です。救急車を呼ぶかどうか迷ったときは、携帯電話やスマートフォンからアクセスできる「東京版救急受診ガイド」をご利用ください。電話での相談は「#7119」救急相談センターへ。  
**問**市防災課・内線2531、立川消防署 ☎(526)0119

## 自助・共助・公助の連携強化を

災害時には、自分で守る「自助」・周りの人と助け合う「共助」・公的支援の「公助」が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながります。



### 市民防災組織を結成しませんか

「市民防災組織」とは、災害時に地域の皆さんが協力して初期消火や被災者の救出、救護などの活動を行う組織です。大きな災害が起きたときに、

市や消防署などの行政機関だけで守れる生命や財産には限界があります。地域の皆さんの率先した行動が重要です。平成26年4月現在、市内には112の市民防災組織が結成されています。防災物品の支給や補助金などの助成制度もありま

### 家庭での備蓄を

災害時、物流のネットワークが寸断されることを想定して、左記の点に注意しながらご自宅での備蓄をお願いします。



1週間分の備蓄の目安

- 備蓄状況チェック**
- 食料……最低3日分。できれば1週間分の備蓄がお勧めです。
  - ライフライン停止への備え……カセットコンロや電池などを用意しましょう。
  - トイレ問題への対策……簡易トイレなどを用意しましょう。
  - 常備薬、ベビー用品など……家庭の状況に応じて用意しましょう。
  - ペット対策……ペットの生活用品も備えておきましょう。

### 帰宅困難者対策にご協力ください

#### 事業所へのお願い

●一斉帰宅の抑制 災害時に一斉に帰宅すると、道路や歩道が歩行者で埋まり、緊急車両の妨げとなり、救助・救命活動に支障をきたします。そのため、むやみに移動せず、従業員や来訪者の方には安全な場所に留まる

ことを周知してください。

●一時滞在施設への協力 立川駅前の滞留者は1万7239人と想定されています。市は二次被害を防止するため、帰宅困難者の一時滞在施設を指定していますが、施設の確保が十分ではありません。立川駅周辺をはじめ市内の事業所の皆さんにご協力をお願いしています。くわしくはお問い合わせください。

#### 市民の方へのお願い

●連絡手段の事前準備 帰宅できなくなった場合に、家族との連絡手段・手順をあらかじめ決めておき、事前にやりかたを理解しておくことが大切です。手袋として、災害用伝言ダイヤルや災害伝言サービスを活用しましょう。

#### 災害時要援護者への支援対策を進めています

地震や風水害等の災害が発生した場合に、加齢や障害などにより一人では自らを守るための適切な行動をとることが困難な方がいます。災害発生から数日は行政機関の対応も限定的になるため、地域における助け合いが大きな力となります。

そこで市は、事前に把握した災害時に支援を希望する方の名簿を地域や関係機関・団体に提供し、災害発生時の安否確認などに活用できるように支援体制づくりを進めています。

登録の対象や登録の申請方法などくわしくはお問い合わせください。

**問**防災課・内線2535

#### 木造住宅の耐震化助成制度をご利用ください

昭和56年以前に建築された木造住宅を所有する方に、無料簡易耐震診断のほか、耐震化にかかる費用の2分の1(限度額以内)を助成する制度を設けています。ぜひご利用ください。

▼助成例 耐震診断(限度額10万円)、補強設計・工事監理(限度額10万円)、耐震改修工事(限度額一般世帯50万円、高齢者世帯80万円)など

**問**住宅課住宅相談係・内線2562

#### 高齢者・障害者世帯に家具転倒防止器具を無料に取り付けます



市は、高齢の方や心身に障害のある方の生活支援として、住宅の家具に転倒防止器具を取り付けています。取り付け場所は1世帯につき、5か所まで。なお、平成21年度以降に市から家具転倒防止器具の支給を受けている世帯は対象外です。また、賃貸借住宅など自己所有以外の住宅は、所有者の承諾が必要です。

▼対象 ▽一人暮らしの高齢者(65歳以上)または世帯全員が65歳以上の高齢世帯 ▽身体障害者手帳1級・2級の方または愛の

## 立川市消防団員募集

立川市消防団は、市内10か所に消防団詰所を配し、総勢168人が、生業を持つ傍ら「自分たちのまちは、自分たちの手で守る」の精神で、昼夜を問わず災害現場に出勤しています。消防団は、市民の皆さんが行う防災訓練への参加や、多種多様化する建物火災に備えての訓練、台風や集中豪雨に備える警戒活動などを行っています。消防団に興味のある方は、防災課までお問い合わせを。  
**問**防災課・内線2535



#### 都の耐震キャンペーン耐震フォーラム

くわしくは都耐震ポータルサイト <http://www.taishin.metro.tokyo.jp> をご覧ください。

時 9月2日(火)午後1時30分～4時15分 都庁第一本庁舎(新宿区西新宿2-8-1) 定 500人(申込順)

**問**耐震キャンペーン事務局 ☎03(6809)2726、市住宅課・内線2562